

# 幼稚園の此頃

倉橋惣三述

さうかうしてゐる内に幼稚園はお晝になります  
幼稚園では正午よりも少し早く御辨當を差上げる  
ことになつて居ります。これは一時に幼稚園が終  
りますので、御辨當を食べて直ぐおしまひになる  
のも少し變ですし、大抵二時か三時頃御家庭で間  
食をお興へになりますので——調査いたしましたこ  
ろによりますとどの御家庭でも大抵一日に二回の  
間食をお子さんにお興へになるのが普通のやうで  
す——それから又朝の始まりが早いので朝の御食  
事から大變間のあるといふことも考へ合せて少し  
早いお晝、即ち十一時頃に御辨當を開くことに決  
めて居ります。

御辨當のよしあしは、これは全く御家庭でなさ  
ることでありまして、幼稚園の關する所ではない

のでありますが、たゞその食べ方に關しては幼稚  
園の方でいろ／＼御注意申上げる場合があるかも  
知れませんが、併しお茶の水幼稚園では食事の時に  
あまり行儀を云々いたしません。尤も或る幼稚園  
では食事の時だけ特別によく氣をつけるところも  
ありますが當幼稚園では食事の時は他の時よりも  
少しお行儀をよくするといつた程度であまり窮窟  
な行儀をお小さい方々に要求いたして居りません  
食事が濟んで了ふと含嗽を致します。これは無論  
齒を大切にする考から起りましたことでありまし  
て、幼稚園だけで含嗽をしても御家へ歸つて含嗽  
なさらなければ效は薄いのであります。御承知の  
如く都會人は誠に齒がよろしくないのでありまし  
て、殊に幼兒は體格検査表に據りましても齲齒の

數が非常に多いのであります。これは食後に含嗽をしないからだと言つて了ふことは出来な  
いかも知れませんが、含嗽をよくすることによつて齶齒の數を増やさずに濟むといふことは事實で  
あります。三度の食事の中一度だけは幼稚園に居るので含嗽をするといふのではあまり效がないの  
であります。それが何うも一年の内三分の一だけお子さんが含嗽をなすつていらつしやることになつて居るのであるまいかと心配に思ふのであります。

齶齒になるのも大いに困ることではありますがこれ以外にもつと困ることはお子さん方に幼稚園でだけ含嗽はするものである、お家ならそんなことはしなくてもいいのだが幼稚園だからそんなことをするのだといふやうに考へさせたらこれは實に困ることなのであります。と申しますのは先刻もお話し申しました通り、幼稚園は家庭と同じやうなもの、尠くも幼兒には家庭と幼稚園とを區別す

るやうなことはさせたくありません。一方に於ては眞個の自己を現はし他方に於てよそゆきの自己を現すといふやうなことをせずに、平氣で、ありのまゝの自己を以て生活してゆく幼兒を欲するのであります。子供の生活に表裏あらしめる位ならば子供が齶齒になる方がまだましであります。

一體、よそゆきといふこと位子供をわらくするものはありません。大人になりますと随分このよそゆきを澤山持つて居る方があります。よそゆきの着物は無論のこと、よそゆきの言葉、何うかするとよそゆきの心などと使ひ分けをすることの出来る方さへもあります。平生と違ふのだからそのつもりでなぞといつて大いに一時的に心を入れ替へやうとする人もありますが却々六ヶ敷いことでもあります。

よそゆき、よそゆきといふのはよそゆきを尊重するやうで別に不都合はないやうでありますが、このことは同時に平生を打ち棄て、願みないとい

ふことになり易いからいけないのであります。平生だんであるから、毎日のことであるからよく爲さなければならぬのであります。それですからお子さんが幼稚園へ来てよそゆきの心持でいらつしやるのは非常にいけないのであります。次郎さんなら次郎さんが幼稚園へ通ふやうになつてから大變よくなつたと保母さんが安心して居ると豈計らんやそれはよそゆきの次郎さんであつて、本當の次郎さんはチツともよくなつてゐないといふやうなことがあつては保育の效かはないわけでありませう。合嗽がせうなども何うかこのよそゆきにならないやうに家庭に於ても十分勵行していただきたいと思ふのであります。私共は本を讀みましたり、人に聞きましたり、たまには自分でも考へたりしまして、いろ／＼計畫を行ひたいと思ふことがありますが御家庭と一緒に歩調を合せて平行して行くことが出来ないためによそゆきのお子さんを作つて了ふ恐れがあるといけないと思つて屢々差控えること

があるのでございます。私共は常に我國の今の子供の普通の生活に標準をとつて居るのでありまして、合嗽は決して理想に過ぎた行ひであるとは思はないのであります。

幼稚園で行つてゐることは實にたわいのない、誰にでも出来るやうなことのやうに一寸見には見えるかも知れませんが却々さう生易しいものではないのであります。古い譬ですが水鳥が樂に水上に浮ぶためには絶えずその足が動いてゐなければならぬのであります。附添の方なぞですと表面だけから見ても幼稚園なんて實にたわいのないものだと思ふかも知れませんが、而して忠義な附添の方なぞは家へ歸つて奥さんに幼稚園では何も教へてくれるのではありません、何も高い保育料を拂つてあんなところへ行かなくても、電車賃さへいたゞけば私が坊ちやんを谷中の裏の方なり日比谷公園なりへお連れ申して遊ばせて上げた方がよろしうございます、何も六ヶ敷いことはありません

砂をいぢつてゐればいゝのです、木の葉を拾つて居ればいゝのです、とこんなことを申されるかも知れません。誠にその程度の方の仰有ることゝして無理はありません。あのぶら／＼と遊んで居るところに重大な教育的意味を汲みとるには十分の學問と識見を要するであらうと思ひます。あの一生懸命になつて、他のことを投げ打つて無心になつて遊ぶといふことが幼稚園の生命であります。

こゝは皆さんに十分に御了解になつていたゞきたいと思ふのであります。附添の方がお子さんを待つ間に何かの雜誌でも御覽になつてゐて、今は實に大切な時機である、世界は將に改造されんとしつゝあるではないかと言つたやうな記事でもお讀みになつた後で、もあると幼稚園でやつてゐることが實に齒痒くて砂の山がくづれたつて、折紙を何う疊んだつてかまわな、もつとしつかりしなければ仕様がな、いと大いに慷慨さるゝかも知れません。

誠に世界の形勢を見たら少しでもヂツとしてはゐられません、しかし子供は十分に遊んで、その時期に適當な教育を受けてゐれば澤山であります世界の形勢によつて直接に兒童の生活を何う改造しやうなどといふことを考へることは要らないのであります。我々大人にとりましては世の中のこと、自分の家のことなどならば一生懸命になることは容易いのであります、おもちやなり砂なりを持つて子供と共に一生懸命になることは實に六ヶ敷いのであります。これは大きな學者や大きな事業家が各々その天職とするところに對して眞面目であると少しも劣らぬ程度で眞面目でなければ出來ないこととあります、一生懸命でなければ出來ないこととあります。

若い人々で保母にならうとされる方々はよく幼稚園を門の外から若しくは垣根の向ふ側からだけのぞいて來られた方が多いのであります。垣根の内には綺麗な花が咲いてゐて、楽しさうに蝶々が

飛びまわつて居ります。それで蝶々と一緒に飛びまわつて遊んでゐたら何んなに愉快であらうかと思つて門の内へ入つて來ます、しかしその方は直きに三百六十五日蝶々と一緒に飛びまわることを容易でないことを知るのであります。たわいないことを馬鹿々々しく思はずに子供と同じ緊張した心をもつて行つてゆくといふことは實に六ヶ敷いことなのであります。

以上のやうな順序で幼稚園は一時になりますとお子さん方をお宅におかへしすることになつて居ります。尤も時にとつてこの一日の順序がまるきり崩れて了ふやうなことがあります。それは幼稚園が社會の行事に倣つていろ／＼な計畫をするところがあるからであります。例へばこの間中は相撲期節でありましたので幼稚園の中にも土俵が出来て毎日皆がそこで相撲をとつたりそれを見物したりしました。明神様のお祭だといふのでお神輿を拵へたこともあります。こんな風に男の子のため

の特別な遊びばかり續いた後には女の子のためにお菓子の製造を始めたりすることもあります。最中の皮と晒餡なかとを買ひ込んで來て最中を拵へ皆に配つたりするのであります、私もためしに御相伴ごばんいたしましたがかかなり鹽辛い最中でありました。

これは相撲期節、お祭期節にはお子さん方は幼稚園の外で盛んにこれらのことに就ての噂を聞いたり、又實際に見たりします、お祭だつて何だつて幼稚園は幼稚園だといふやうな餘所々々しいものに幼稚園といふものをしてしまひたくありませんので斯ういふやうな計畫も幼稚園に於て爲されるのであります。而して斯ういふやうな場合に幼稚園の日程に多少のくるひの生ずるのは誠に止むを得ないことでありまして、この方が反つて生命のある、ゆとりのある本當の日程となるのであります。(文責在記者)